

「第3回まちづくりに関する提案の募集」

「アトム島」

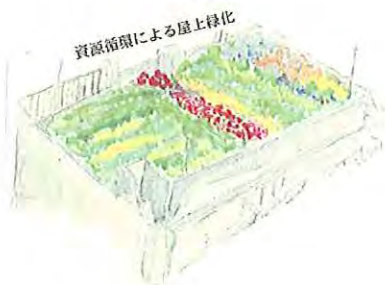


○はじめに

軍艦島（端島）と言う名前を聞いたことが、みなさんあると思います。私も何かの本か新聞、雑誌等で知っていましたが、詳しく知っているわけではありませんでした。、そんな時に長崎出身の知人が、「軍艦島を世界遺産にする会」の本を持っていましたので、早速その本を借りて見ますと、その時の都市と文化が30年間、過去の遺産として時を止められたまま残っていることを知りました。そして30年前の都市が、そのままの姿で残っている地域は、現在どこにもないと思われました。

30年前までは、多くの人々が住んで九州の産業を支えていたと思う。この軍艦島に対する意見や提案等は多くの方が発表していると、思いますこの遺産をより大勢の方に知られ又憩いの場として私案してみました。

産業遺産



炭坑を生かした貯蔵庫

時間の止まった場所



みなさんが良く知ってる鉄腕アトム、何も手を加えないと動かない、しかし何かのきっかけによって動かす事が出来る。この島も課っては炭坑と言う動力によって動いていた。しかし今は、石炭に変わって石油になりこの島の動力が無くなり人々や、植物も動かなくなってしまった島になった。この島には多くの建物に関する価値ある物のや、40～50年前の坑道や採掘状況など数多くの産業遺産として、先人の営みを残し後世に伝承するためのもこの島の復活が必要だと思います。

○提案内容



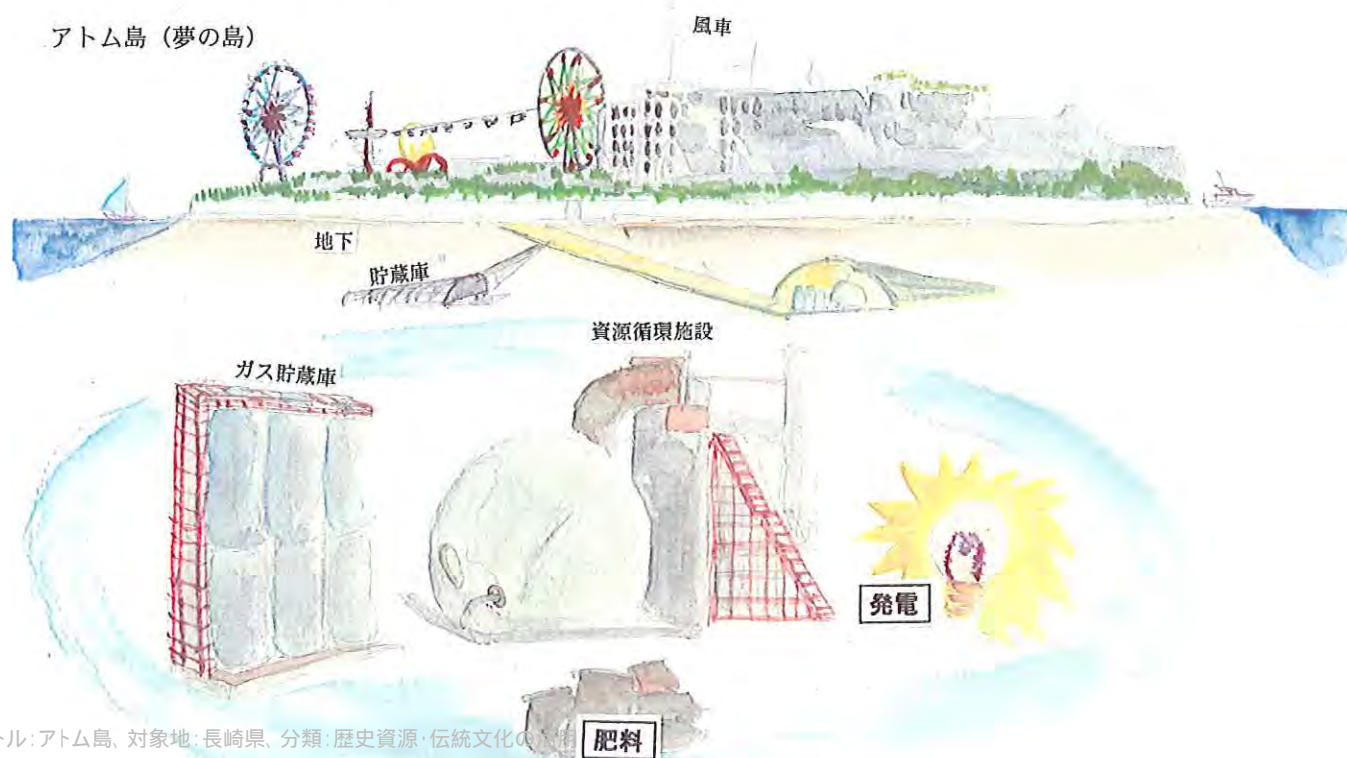
これまでにこの島に関する調査が成されています、この調査を基に建物については、使える建物は利用し、産業遺産や街並みとして保存する部分は其処にある材料で修復し、かつての生活空間のある島に復活し、建物内部は木造でこれまでの9階建てのビルは4階ににして天井高くし日本古来の新しい社風にする。どの窓からも広い海が見え、心も広くなるような部屋にする。

またこの島には地下に坑道がありこの坑道を有効利用として、池す、酒、ワイン、みそ、醤油などの貯蔵庫として活用しこの島の特産物とする。

現在は多くの大量消費や大量廃棄により大量の燃料があるこの島は資源の完全な循環を目だし石油に依存しないエネルギーを確立する。この島の地下で不要となった燃料や島からのゴミや生ゴミよるバイオガス化で発電と、自然のエネルギー（風力、太陽）を利用し、島のエネルギー源とする。

この島に上陸するには、なにも持ち込まない、持ち出さない（ゴミ）完全な循環資源を行う。特に最大の特徴は、一端上陸すると食べ物、飲み物は等すべて一律で財布も持ち込まない島である。だれもが食べたい時に好きなだけ食べ、遊具、スポーツ施設も無料で360度海に囲まれ遠くを眺めゆっくり過ごしてもらえば、体も心もゆったりした気持ちになってもらう夢の島である。

大勢の方々は来ることによって、昔栄えたようにこの島を忘れる事無く、心を癒してくれるアトム島にしたいです。



タイトル:アトム島、対象地:長崎県、分類:歴史資源・伝統文化の活用